

ソフトウェア品質シンポジウム2024 クロージング・終了報告

ソフトウェア品質シンポジウム委員会
委員一同

参加者数・企業数と一般発表投稿数

ソフトウェア品質シンポジウム2024

- 本会議 + 併設チュートリアルに参加者総数

503名！！！！

- 本会議 + 併設チュートリアルに参加企業総数

163社！！！！

- 一般発表 採録数 / 投稿数 (採録率)

34件 / 36件 (94.4%)

特別講演①：

ビジネスモデルで先行し現場力の勝負に持ち込む
EARTHBRAINのスマートコンストラクションに
おける実践

小野寺 昭則氏

(株)EARTHBRAIN 代表取締役社長

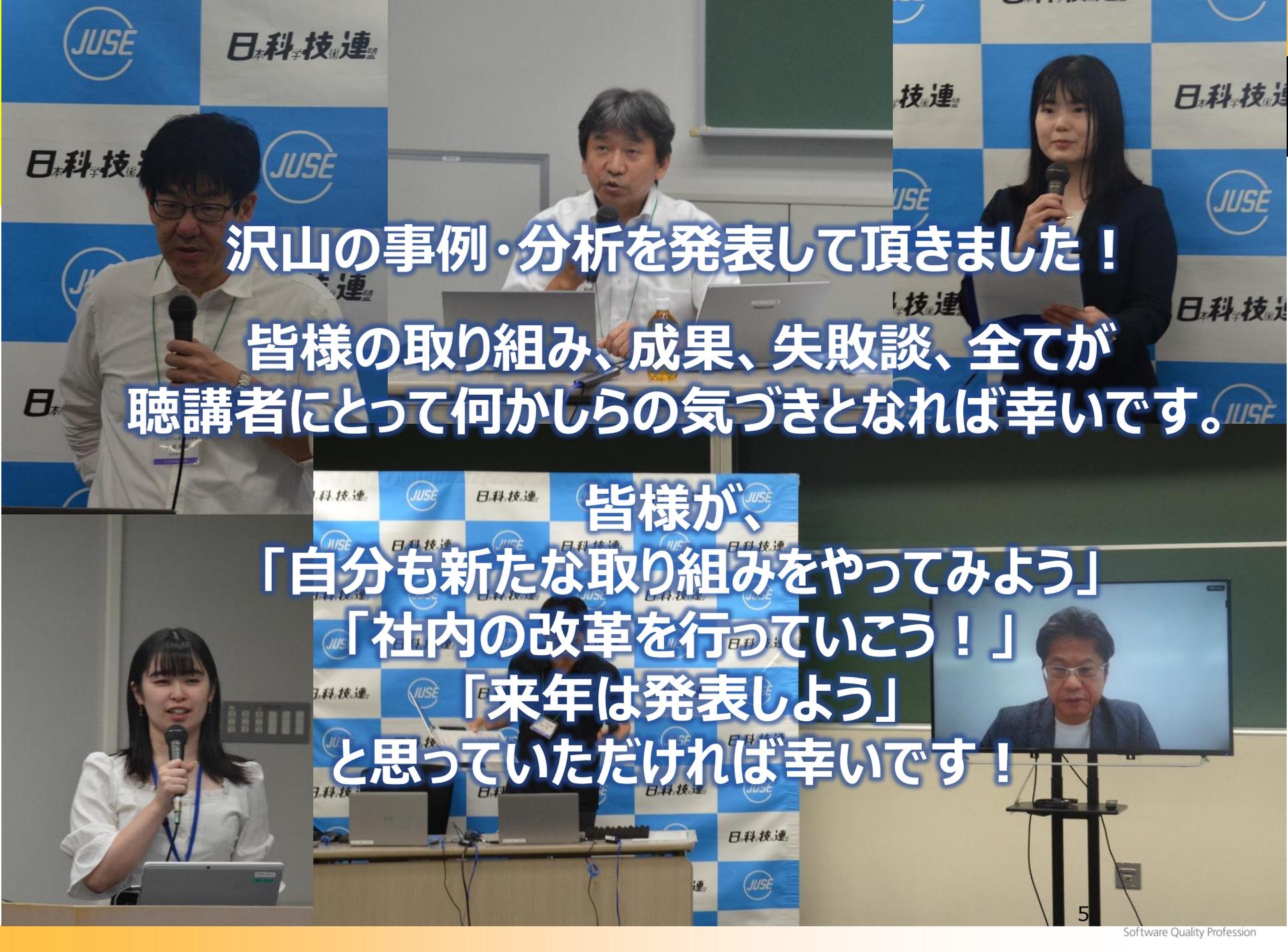
特別講演②：

ソフトウェア開発における生成AI活用の
現在地と品質面での考慮点

服部 佑樹 氏

ギットハブ・ジャパン(同)

Senior Customer Success Architect



沢山の事例・分析を発表して頂きました！

皆様の取り組み、成果、失敗談、全てが
聴講者にとって何かしらの気づきとなれば幸いです。

皆様が、
「自分も新たな取り組みをやってみよう」
「社内の改革を行っていこう！」
「来年は発表しよう」
とだけ思っていたら幸いです！



これにてソフトウェア品質シンポジウム2024を終了します。

ご発表いただいた皆様、

ご質問・ご議論いただいた皆様、

シンポジウムの運営・準備にご協力いただいた皆様、

大変お疲れ様でした、そして、ありがとうございました！

また来年、ソフトウェア品質シンポジウム2025で

でお会いいたしましょう！



ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員一同

ソフトウェア品質シンポジウム2024

SQiP Awardの発表

2024年9月13日（金）

一般財団法人 日本科学技術連盟

ソフトウェア品質シンポジウム委員会

SQIP Award (表彰) について

■ SQIP2024では、下記の5つの賞を設け、優秀な論文／報告を表彰する。

- ・ 各賞1件の表彰をする（該当なしの場合もあり）。
- ・ 同点等、甲乙付け難い場合、例外として複数件の表彰を可とする。

賞の種類		対象	賞の名称	選定方法
Effective 賞	実践的で現場の品質向上に役立つ優秀なもの	論文	Best Paper Effective Award	委員の査読による投票
		報告	Best Report Effective Award	
Future 賞	将来役に立つ可能性を秘めている優秀なもの	論文	Best Paper Future Award	
		報告	Best Report Future Award	
Presentation賞	最も分かり易く、効果的な発表	論文報告	Best Presentation Award	聴講者の投票

SQiP Best Paper Effective Award

A2-2

ソフトウェアプロセス改善を組織的，実証的に
すすめるためのデータ分析パターン言語の提案

株式会社プロセス分析ラボ
小室 睦（こむろむつみ）様



SQiP Best Report Effective Award

B2-4

ヒヤリハットの要因抽出と対策立案フレームワーク
～不適切な行動と周辺要素を整理するための
要因抽出マトリクスと、対策立案シートの考案～

株式会社ベリサーブ
門谷 友樹（かどたに ともき） 様



SQiP Best Paper Future Award

B3-4

**ソフトウェアレビューにおける生成AI活用の研究
～ChatGPTが欠陥検出と指摘伝達をアシスト～**

**ブライシス株式会社
北里 竜（きたざと りゅう）様**



SQiP Best Report Future Award

B1-3

**スピード感と品質を両立したアジャイル開発に
対応する品質マネジメントシステムとは
～テスト設計方針を組み込んだ完成の定義と
品質技術者の導入～**

**三菱電機株式会社
湯川 純（ゆかわ じゅん） 様**



SQiP Best Presentation Award

A1-1

**レビュー品質の可視化にむけた
ODC分析の応用**

**オリンパスメディカルシステムズ株式会社
武田 匡広（たけだ まさひろ）様**

